

材料・化学領域

Newsletter

No. 20

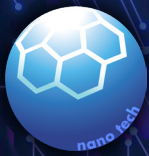
2026年
1月13日発行



- nano tech 2026 出展最新情報

nano tech 2026

第25回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議 出展



nano tech 2026
International Nanotechnology
Exhibition & Conference

材料・化学領域が重点的に取り組んでいる**24件**の
研究活動について出展します。

nano tech 2026
**事前来場登録
(無料)→**



<https://nanotech2026registration.jcdbizmatch.jp/jp/Registration>

2026年**1月28日(水)～1月30日(金)**

東京ビックサイト 西1ホール
材料・化学領域ブース **1W-E37**



予約
不要

シーズ&ニーズセミナーB会場 講演 **1月29日(木) 15:00～16:15**

「プルシアンブルー」でアンモニア窒素循環を駆動

材料基盤研究部門
ドゥルガ パラジュリ

アルミニウム合金のアップグレードリサイクルを加速する
特性予測 AI

マルチマテリアル研究部門
村上 雄一郎

ハイスループット解析ツール及び
「データ駆動型材料設計技術利用コンソーシアム」の紹介

マテリアルDX研究センター
松村 太郎次郎

次世代高速通信を実現する革新材料開発

マルチマテリアル研究部門
三村 憲一

バイオマテリアル・バイオセンサの高機能化に向けた
ナノ材料技術の開発

材料基盤研究部門
淵上 輝顕

出展テーマ一覧 〈産総研 材料・化学領域ブース 1W-E37〉

出展テーマ • 資源循環

- エポキシ樹脂のケミカルリサイクルによる再原料化
- バイオマス資源から芳香族化合物への変換技術
- セラミックス固体の低温製造法と粉状分解技術の開発
- リサイクル炭素繊維を活用した3D積層造形
- 海水からのカリウム回収
- 「プルシアンブルー」でアンモニア窒素循環を駆動

出展テーマ • マテリアルDX

- ハイスループットスペクトル解析ツール
- データ駆動型材料設計技術利用推進コンソーシアム ～秘匿計算技術～
- 全自動材料開発装置とデータ資産化 ～合成、精製、評価までの一貫した自動実験～
- データインフォマティクス用「AISTアプリ」を使った機能性材料の分析事例
- アルミニウム合金のアップグレードリサイクルを加速する特性予測AI

出展テーマ • 先進素材

- フレキシブルなウェアラブル全固体電池
- カーボンナノチューブの社会実装に向けた市販品約40種の組成構造の相関
- 凝集抑制技術で切り拓くセンサー用カーボンナノチューブ複合材料
- 木質素材の階層構造を利用した複合材料化
- 未利用バイオマス資源「リグニン」由来の高機能・高意匠素材
- バイオマテリアル・バイオセンサの高機能化に向けたナノ材料技術の開発
- アクティブに動作する蓄熱合金
- 次世代高速通信を実現する革新材料開発

出展テーマ • 技術革新

- 水素が見えるぞ! ～視認可能な水素ガス検知材料の開発～
- ガスセンサによる目に見えない感覚情報・生活情報の可視化
- 陽電子で高分子の自由体積サイズを測る ～陽電子消滅寿命測定～
- 血糖値測定用の電極を開発 ～血液ガス分析装置の小型化に貢献～
- 基本ブロックを配列してから組み上げる新規ゼオライト合成法

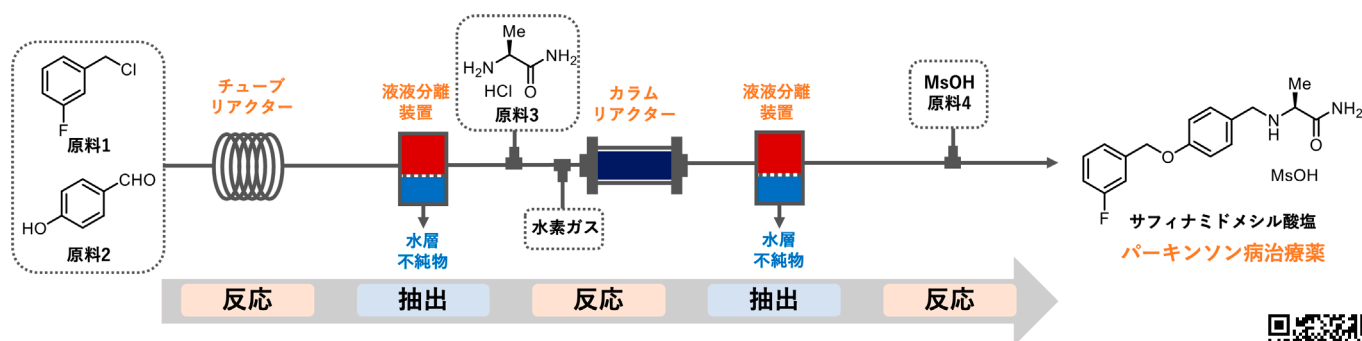
パーキンソン病治療薬の連続フロー合成を実現

Sep/17

～ 多段階の連続処理で高付加価値品を短時間で合成する ～

- ・ 高付加価値品である医薬品に対し、連続フロープロセスを適用した革新的な 製造技術を開発
- ・ 多段階反応において従来法では避けられなかった中間体の単離・精製工程が不要になるので、迅速かつ効率的な連続合成を実現
- ・ パーキンソン病治療薬「サフィナミドメシル酸塩」の生産効率を従来技術よりも3.4倍向上、廃棄物を20%削減

多段階の反応・抽出を組み合わせた医薬品原薬の連続フロープロセスを開発



詳しい情報はコチラ

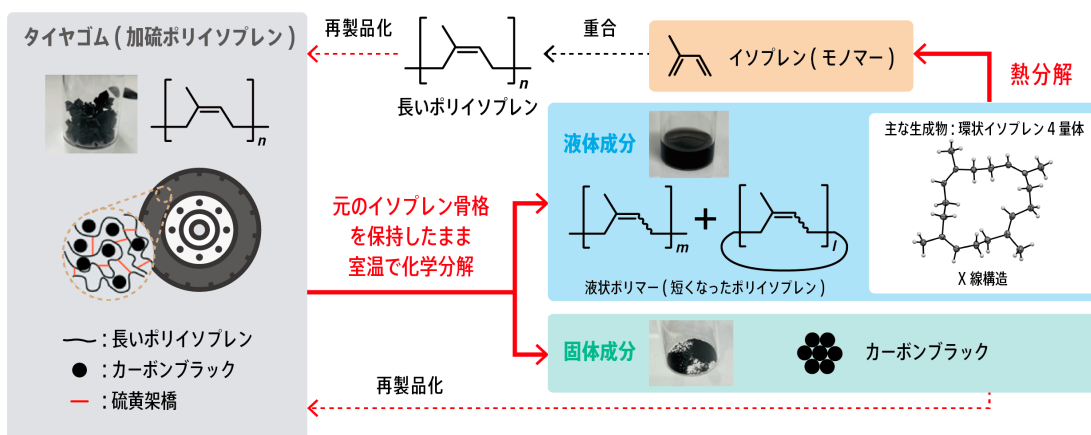
https://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2025/pr20250917/pr20250917.html


使用済タイヤを化成品原料に

Dec/4

～ タイヤゴムを室温で液状ポリマーに分解する ケミカルリサイクル技術を開発 ～

- ・ 室温での化学分解とそれに続く熱分解により、イソプレンとカーボンブラック の回収に成功
- ・ 化学分解で得られた液状ポリマーの分析から、その反応経路を解明
- ・ 使用済タイヤの資源化によるカーボンニュートラル社会の実現に貢献



詳しい情報はコチラ

https://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2025/pr20251204/pr20251204.html
